

令和5年度 東久留米市立中央中学校のグランドデザイン

中央中生活三カ条

- 礼節
- 服装
- 時間

教育目標

- 共に生きる喜びをつかもう
- ・進んで学ぶ
 - ・人を思いやる
 - ・体力をつける
- 行動目標 自主・自律・自治・表現

5年度スローガン
奇跡の出会いに
心をつなぐ
中央中学校

特別支援学級教育目標

- 社会生活の自立を目指し、豊かな心をはぐくみ、自ら考え行動できる生徒を育成するために、次の目標を定める。
- ・進んで学び、創造する力を付ける
 - ・お互いを認め、協力し合える力を付ける
 - ・健康や安全に気を付け、規律ある生活ができる力を付ける

豊かな人間性

- 自分と他人との違いを認め合い、思いやり、高め合う仲間づくり
- 自律、自治による学校生活、行事づくり
- 目標をもち、粘り強く努力する

健康・体力

- 正しい姿勢での着席、落ち着いた心で行動する
- 自他の命を大切にする
- レジリエンス（逆境や困難に適応し成長する力）を高める

資質・能力の育成

何ができるようになるか

- 主体的に考え、行動する
- 学習したこと、体験したことを生活に生かす
- その場の状況に適した対応と根拠をもとに課題を解決しようとする

指導の改善

- 単元毎に学びのプランの提示し、見通しをもたせる
- 何を理解し、何が分かりたいか振り返りを行う
- 教師による指導の前に、自己決定する機会をもつ。他の人の考えを聞き、一度立ち止まり、自分の考えを再構成する

生徒の発達をどう支援するか

生徒の実態

- 笑顔と人なつこさをもつ
- ソーシャルスキルの未熟による不登校の増加
- 粘り強い努力の継続が十分ではない
- 学ぶ意欲、学ぶ喜びの高まりが十分ではない

目指す生徒の姿

- 思いやりをもって仲間づくりをする生徒
- 困ったときはお互い様、相談できる生徒
- スモール・ステップで目標を達成できる
- 学んだことを仲間に表示できる生徒

配慮を要する生徒への指導

- ・特別支援教室巡回指導教員、専門委員、巡回相談員、スクールカウンセラー、保護者と連携し、特別支援教育コーディネータを中心に校内委員会組織を通じて一人一人の教育的ニーズを把握し、支援を行う。
- ・職員間で情報共有を行い、協働して支援に当たる。
- ・特別支援教室での指導が、通常の学級内でも生かされる環境作りを行う。
- ・ユニバーサルデザインの観点から指導を行い、全ての生徒にとって居場所をなす学級作りを行う。

何を学ぶか（指導の重点）

- 授業のねらいに沿った授業展開
- 1時間毎に振り返りを行い自己調整させる
- 家庭学習につながる個に応じた課題の提示
- 生徒の思考を促す課題提示
- 2020レガシー（ボランティア・マインド）
- 情報活用能力の育成（東久留米市研究推進校）発表会に向けた研究実践

どのように学ぶか

- 授業スタイルの確立（ねらいを活動的に）
- 振り返りの時間を設定し、形成的評価に活用する
- 学習方法の提示、検定の推進により個人の目標設定
- 安易に正答を与えない。
- 日々の生活で他人の困りに対応し行動する
- 各教科、領域の指導案に情報活用能力育成ポイントを明示し、学習活動を行う

安心・安全を守る

- 命を守る指導 施設・登下校・休み時間・部活動
- いじめ防止 情報モラルの徹底、見守りの徹底
- 不登校対策 心をつなぐ関わりと居場所作り

開かれた学校作り

- 学校評議員会・央友との連携、協力
- 学校公開の実施
- 学校だより等の便り、ホームページ、一斉メールでの情報発信